

平成27年度 専門部会 こども支援部会の活動報告

日 時	会 議 名	内 容	具 体 的 活 動
平成27年 4月17日	第1回部会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 部会長および副部会長選出 ・ 部会活動テーマの確認 ・ 今年度の活動について <ul style="list-style-type: none"> ① たけまるノートの活用状況の追跡 ② 連携に向けた研修会の企画 ③ 重心児の就学に向けての連携・システム作りの検討 	自己紹介他 左記①②グループに担当分け。(③については重複担当者あり)
5月29日	重心児の就学支援ワーキング	生駒市における重心児の就学までの流れを学ぶ第1回勉強会(6/17実施)の準備等	意見交換・作業
6月19日	第2回部会	6/17勉強会の報告 その他今年度の活動について	意見交換・作業
8月21日	第3回部会	たけまるノート追跡「保護者向けアンケート」結果報告、たけまるノート配布説明時リーフレット作成、重心児の就学支援第2回勉強会準備	”
10月16日	第4回部会	重心児勉強会報告、たけまるノート追跡「支援者アンケート」結果報告、連携のための研修会(12/20実施)準備	”
12月18日	第5回部会	保護者への配布説明会について報告および支援者勉強会(啓発含む)について	意見交換
平成28年 2月5日	第6回部会	支援者勉強会の報告およびたけまるノートの活用啓発について 来年度の活動について(活動計画案)	意見交換

<研修会>

- ・ 重心児の就学に向けての支援者勉強会 2回(6/17、9/30)
- ・ 障がいや発達に不安があるこども達への支援についての勉強会(12/20)

<啓発>

- ・ サポートブックいこま“たけまるノート”について支援者(公立私立の幼稚園・保育園職員)への啓発(4/6)

こども支援部会 活動テーマ

「切れ目のない支援を行うために」

平成27年度 活動目標

「サポートブックいこま“たけまるノート”（以下、たけまるノート）の活用実態把握
および啓発」

「重度心身障がい児の就学に向けての連携（システム作りを検討する）」

「連携強化のための支援者勉強会の開催」

活動内容

1. たけまるノート活用実態把握のためのアンケート実施

現在までにたけまるノートを配布した保護者・支援者からの意見を、たけまるノートの活用実態把握と内容の改善や活用方法の啓発など、今後よりよい支援ツールとして運用していくためにアンケートを実施した。

<内 容>

平成26年度末時点でたけまるノートを配布した保護者およびたけまるノートを受け取り利用した支援者にアンケートを実施。

	対象者	日時	内容	対象人数（申し込み人数等）
1	たけまるノートを配布した保護者	H27.7.17(金) 郵送・配布開始 H27.7.24(金)回答期限	A4 3面 活用状況、意見・感想	こども101名の保護者 (実人数93名)
2	たけまるノートを利用した支援者	H27.9.4(金) 郵送・配布開始 H27.9.18(金)回答期限	A4 2面 活用状況、意見・感想	74名 幼稚園・保育園13名（10園） 教育30名（小学校23名7校、 中学校1名、養護学校4名1校、教育支援施設2名） 児童通所事業所19名（5か所） 医療機関12名（3か所）

上記の結果、保護者が支援者へ適切な時期にたけまるノートを持参しないケースや、保護者が持参しても支援者がたけまるノートの運用に十分な理解がなかった等、望ましい利用がなされていないことがあると分かった。

2. たけまるノートの有効活用について各関係機関への啓発

平成23年度から、切れ目のない支援のためには、特にこども時代の重要な支援機関である教育との連携強化の必要性があることを共有し、活動してきた。福祉の政策や福祉事業所について、また、たけまるノートを作成する予定であることの周知等を、地域の小・中学校の特別支援学級やコーディネーターの先生方の既存の会議や夏の研修会等で啓発した。そして、たけまるノートが完成した平成26年度には、連携ツールとして効果的に運用されるよう、校・園長会、幼保主任会議、各学校（特別支援学校含む）への個別講義等、目的や使い方の説明を中心に各関係機関の支援者へ啓発を行った。

平成27年度は、4月に、たけまるノートについての説明会を幼稚園・保育園職員向けに実施した。さらに、前記（1. 参照）の「たけまるノート活用実態把握のためのアンケート」の結果をふまえ、利用方法説明文書と年度末にたけまるノート活用を促進するチラシを作成し、利用中の保護者へ配布した。支援者へは、年度末の活用促進チラシとたけまるノートを持っていない対象者へ紹介するためのチラシを作成し配布した。

<支援者啓発先等>

	対象者	日時等	内容	対象人数（申し込み人数等）
1	市内幼稚園・保育園職員（公立+私立）	H27.4.6(月) 15:00時～ 2時間	・講演「サポートブックいこま“たけまるノート”」の活用について ～障がいや発達に不安があるこども達への切れ目のない支援のために～ 発表者等 部会メンバー（複数） ・ロールプレイ	幼稚園34名（13園） （公立27名9園、 私立7名4園） 保育園23名（17園） （公立7名4園、 私立16名13園）
2	たけまるノートを利用中の保護者	H28.2.5(木) 郵送・配布	・利用方法説明文書（A4 2面） ・保護者向け活用促進チラシ 郵送者 A4 1面 配布者 B5 1面	こども118名の保護者 （実人数109名）
3	生駒市の障がいや発達に不安がある児を支援する支援機関	H28.2.25(木) 郵送・配布	・支援者向け活用促進チラシ（A4 1面） ・たけまるノート紹介チラシ（A4 1面） ・たけまるノート紹介ポスター（A4またはA3 厚紙）	132件 幼稚園・保育園31園 教育29（小学校12、中学校8、 養護学校7、その他2） 児童通所事業所30か所 福祉サービス関係機関9か所 医療機関30か所 その他 3か所

3. 障がいや発達に不安がある子ども達への支援についての勉強会

平成26年度には、障がいや発達に不安がある子ども達の成長発達のために関わる支援者のスキルアップおよび支援者間の連携強化を目的とし、医療・保健・福祉分野の支援者を対象に勉強会を行った。

平成27年度は、対象を教育分野にも拡大し、医療・教育・保健・福祉等のあらゆる支援機関が「縦の連携」「横の連携」(※1参照)をすることの重要性を共有し、具体的な方法をイメージすることと顔の見える関係を作ることが目的に勉強会を実施した。

※1 「縦の連携」ライフステージに応じた切れ目の無い支援。

「横の連携」保健、医療、福祉、保育、教育、就労支援等とも連携した地域支援体制の確立。

(出典：「今後の障害児支援の在り方について(報告書)～「発達支援」が必要な子どもの支援はどうあるべきか～」平成26年7月16日 障害児支援の在り方に関する検討会(厚生労働省))

<内 容>

対象者	日時	場所	内容	対象人数 (申し込み人数等)
生駒市の障がいや発達に不安がある児を支援する支援者	H27.12.20 (日) 9:30～12:00	コミュニティーセンター4階	1. 講義「障がいや発達に不安がある子ども達への切れ目のない支援のために大切な連携～各支援機関で作成している個別の支援計画の有効活用～」 講師 湖南省発達支援室長 大濱 早苗氏 2. たけまるノートの利用の現状 3. グループワーク	68名 医療機関 4名 (4か所) 保健機関 3名 (2か所) 幼稚園・保育園 16名 (9園) 教育 12名 (6校) 福祉等 21名 (10か所) 部会メンバー 12名

4. 重度心身障がい児の就学過程の理解と支援について

入退院を繰り返し、幼稚園・保育園等への通園が困難な重度心身障がい児のなかには、就学を迎える間際に受け入れる学校が初めて把握するというケースがある。子ども達が自分に適した学校に安心して就学するためには、保護者が就学に向けて準備を進めていけるように適切な情報提供や支援をすることと共に、学校側の受け入れ準備がしっかりできていることが重要である。そのために、支援者が教育関係機関へ漏れなくつなぐ事ができるよう、重度心身障がい児の“就学過程”を理解し、当市での支援に役立てることを目的に勉強会を実施した。

<内 容>

	対象者	日時	場所	内容	対象人数 (申し込み人数等)
1	未就学重度心身障がい児を支援する関係機関	H27.6.17(水) 18:00～19:30	生駒メディカルセンター 3階 会議室	講義「重度心身障がい児の就学過程と就学支援について～安心して就学できるために支援者が知っておきたいこと～」 講師 生活支援センターあすなるセンター長 中井加苗氏	34名 医療機関 1名 保健機関 10名 (2か所) 幼稚園・保育園 2名(2園) 福祉 8名(5か所) 部会メンバー 13名
2	未就学重度心身障がい児を支援する関係機関	H27.9.30(水) 18:00～19:30	生駒メディカルセンター 3階 会議室	1. 講義「長期療養児の支援について～奈良市の現状より～」 講師 奈良市保健所 健康増進課 保健師 川鍋 里奈氏 2. グループワーク	28名 医療機関 6名(3院) 保健機関 3名(2か所) 養護学校 2名(1校) 福祉 5名(4か所) 部会メンバー 12名

28年度の活動方針

こども支援部会の活動テーマを基本とし、(1) 特別支援学級・特別支援学校のこども達のたけまるノートの所持率を上げることを目標に、所持・運用状況の把握と啓発(①未就学・重心・在宅 ②地域の学校 ③特別支援学校 ④児童発達支援・放課後等デイサービス事業所の4つの対象群に分けて)、(2) 就学を控えた重心児の情報共有方法の具体化(3) 障がいや発達に不安があるこども達の就学についての支援者(幼稚園保育園の職員)向け勉強会の開催(4) 知的障がいのない自閉症スペクトラム児等に対する支援のあり方研修会の開催をする。

平成27年度 たけまるノート配布等状況

配布冊数 計 35 冊

◆ 配布場所：生活支援センターあすなろ（計18冊）

未就学 ●2才児 2冊 ●3才児 8冊 ●4才児 1冊 ●5才児 4冊
 小学生 ●2年生 1冊（通常学級） ●4年生 1冊
 高校生 ●1年生 1冊（支援学校）

◆ 配布場所：生駒市障がい福祉課（計17冊）

未就学 ●3才児 3冊 ●4才児 3冊 ●5才児 1冊（幼稚園）
 小学生 ●1年生 1冊（支援学級） ●2年生 1冊（支援学級）
 ●3年生 1冊（通常学級） ●4年生 1冊（通常学級）
 ●5年生 1冊（支援学級） ●6年生 1冊（支援学級）
 中学生 ●1年生 1冊（支援学級） ●3年生 1冊（支援学校）
 高校生 ●1年生 1冊（支援学校） ●3年生 1冊（支援学校）



【たけまるノート配布実績】

児年齢 区分	配布機関	平成 26 年度 (H26.11月末～)		平成 27 年度		総 合 計 (H26年度+H27年度)	
		冊 数	合 計	冊 数	合 計	冊 数	合 計
		未就学	あすなろ	46	52	15	22
	障がい福祉課	6	7	13			
小学生	あすなろ	14	41	2	8	16	49
	障がい福祉課	9		6		15	
	部会・配布会	18				18	
中学生	あすなろ	2	6	0	2	2	8
	障がい福祉課	4		2		6	
高校生	あすなろ	0	2	1	3	1	5
	障がい福祉課	2		2		4	
配布 機関別 合 計	あすなろ	62		18		80	
	障がい福祉課	21		17		38	
	部会・配布会	18				18	
総合計		101		35		136	

